



作品タイトル

家じまい



作者

イチニノ

形式

漫画

●作者について

≫自己紹介

イチニノと申します。漫画を、描くのも読むのも大好きな人です。
最近のマイブームは妖怪の浮世絵を見ることです。

.....

≫応募のきっかけ

公募サイトがきっかけです。難しいテーマだと感じ、当初は参加を見送るつもりでした。
しかし”未来のふるさと”という言葉が胸に引っ掛かり、自身の故郷を考えてしまう日々が続き、
ふと描きたいお話が浮かんだため応募を決めました。

●作品について

≫作品の解説

空き家の片付けのため、田舎に帰省した家族のお話です。
「変化」には大きなエネルギーが必要で、ときに寂しさも伴います。
それでも変化を悲観するだけではなく、未来へつながる一歩だと思えたらよいな。そんなお話です。

.....

≫思い・受賞コメント

賞をきっかけに、誰かがこの漫画が読んでくださり、
ご自身の故郷に想いを馳せることがあれば、何よりも嬉しいことだと感じます。
未熟な部分も多い漫画ですが、大変光栄に思います。ありがとうございます。

.....

≫審査員コメント



里中先生

「家じまい」という重厚なテーマを、32歳の瑞々しくも深い洞察力で描ききった手腕が見事です。切なさを越えて、25年後の豊かな未来を信じたいくなるような、希望に満ちた物語の構成力に深く感銘を受けました。



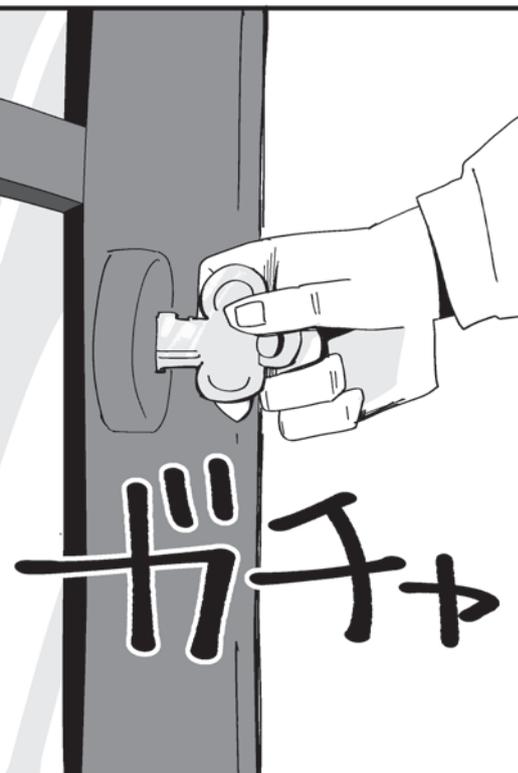
中村先生

キャラクターの魅力が生きている。
シナリオは自然で構図も工夫されている。

テーマに沿って優しさと切なさが
うまく表現されていた。
心あたたまる四半世紀予報でした。



吉村先生



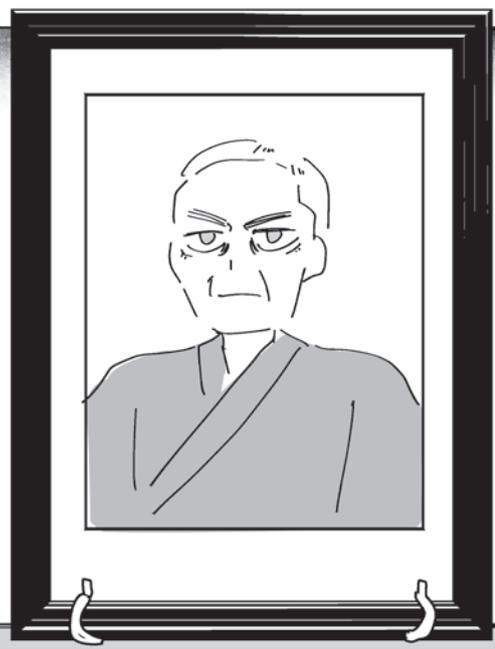


ただいま

お父さん
お母さん

家じまい

作：イチニノ



この家は
もうすぐ壊される

長らく空き家と
していたが
維持費、光熱費、税金

家はひとが
住んでいなくても
金がかかるのだと知った

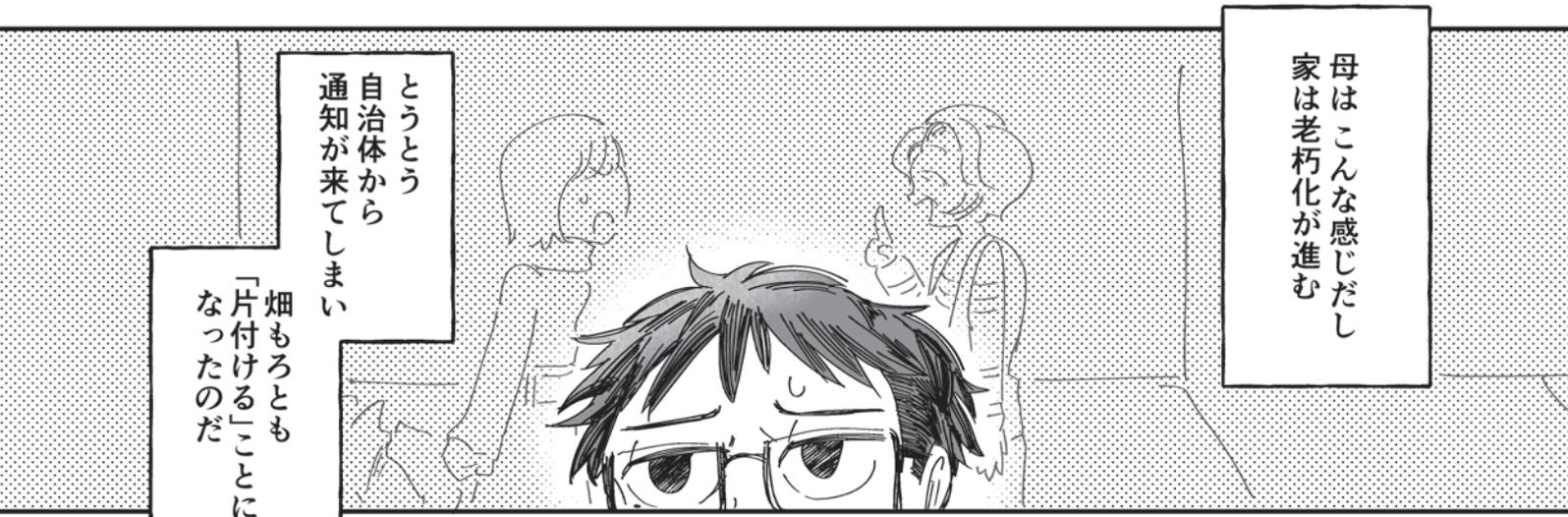
ガサ

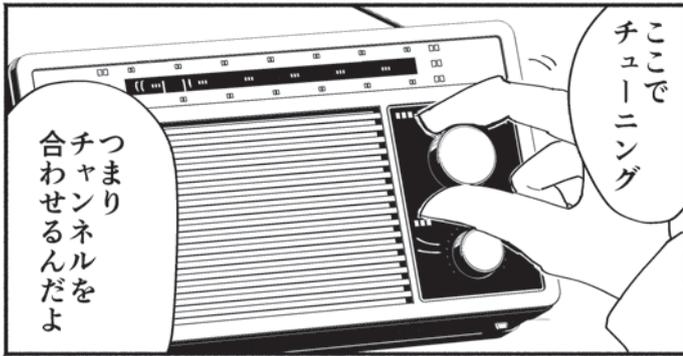
書類上は
母が相続した
家なのだが――

畑の栗がね
ようけ実
つけとったよ

ほら
こんなに

伊澄
持って帰りんさい







この家は
時間が止まったまままだ

祖父母の思い出が
あちこちに
化石のごとく
埋まってて

もうすぐ全部
無くなってしまおう



〇〇町の
カフェ
【万葉】
から
お知らせ
です

今週末
パン作り
体験会を
開催しま
す
参加費は
無料です
ご家族
で

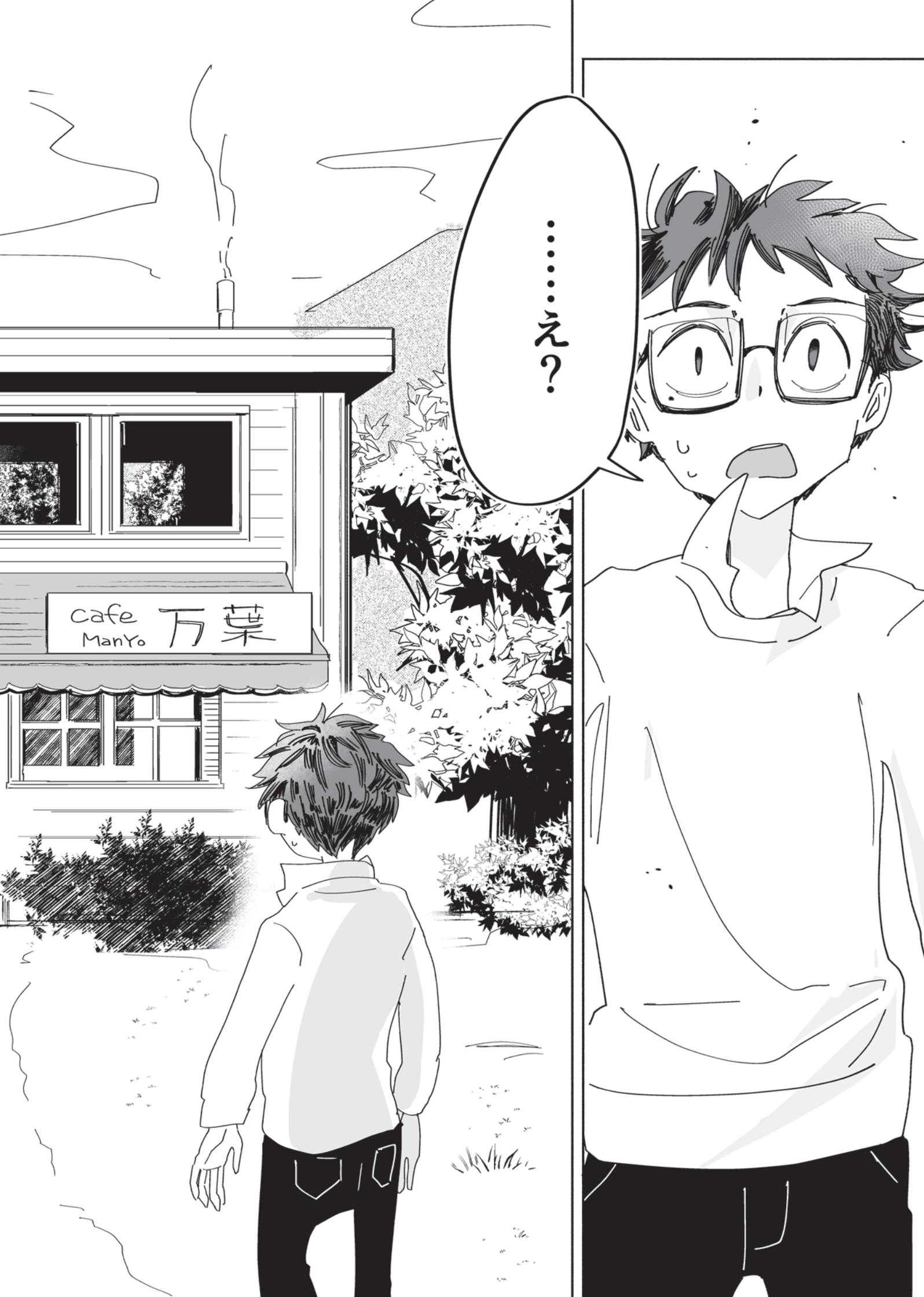
すぐ
近くだよ
ね
そんなお
店
あつたっ
け
……?
……?

ガッ



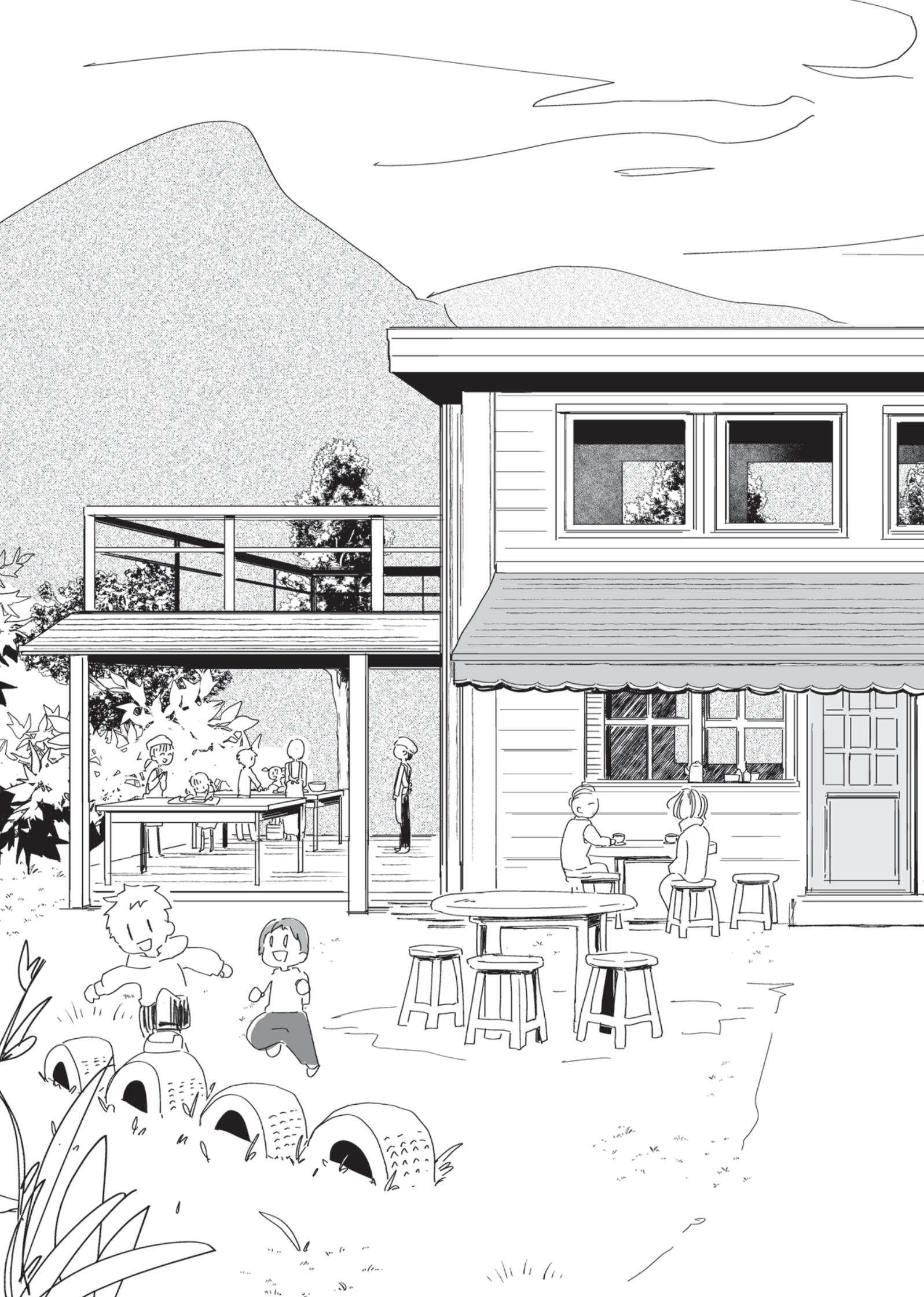
おかし

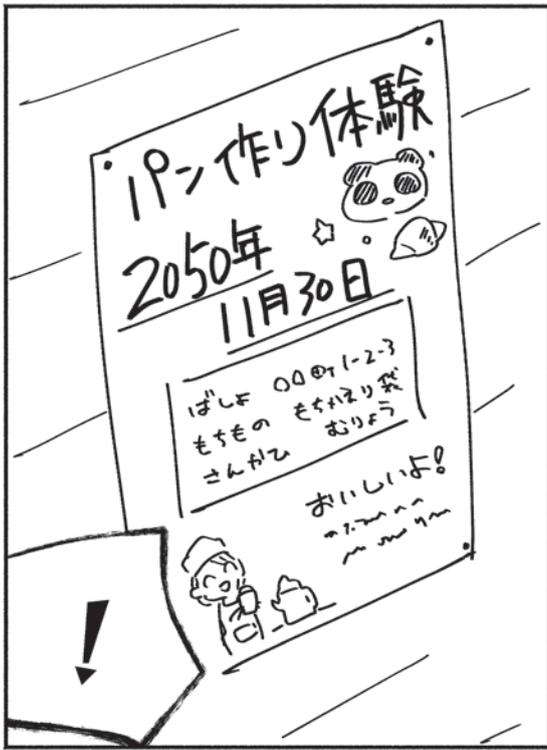
キヤ



Cafe 万葉
Man'yo

.....え?

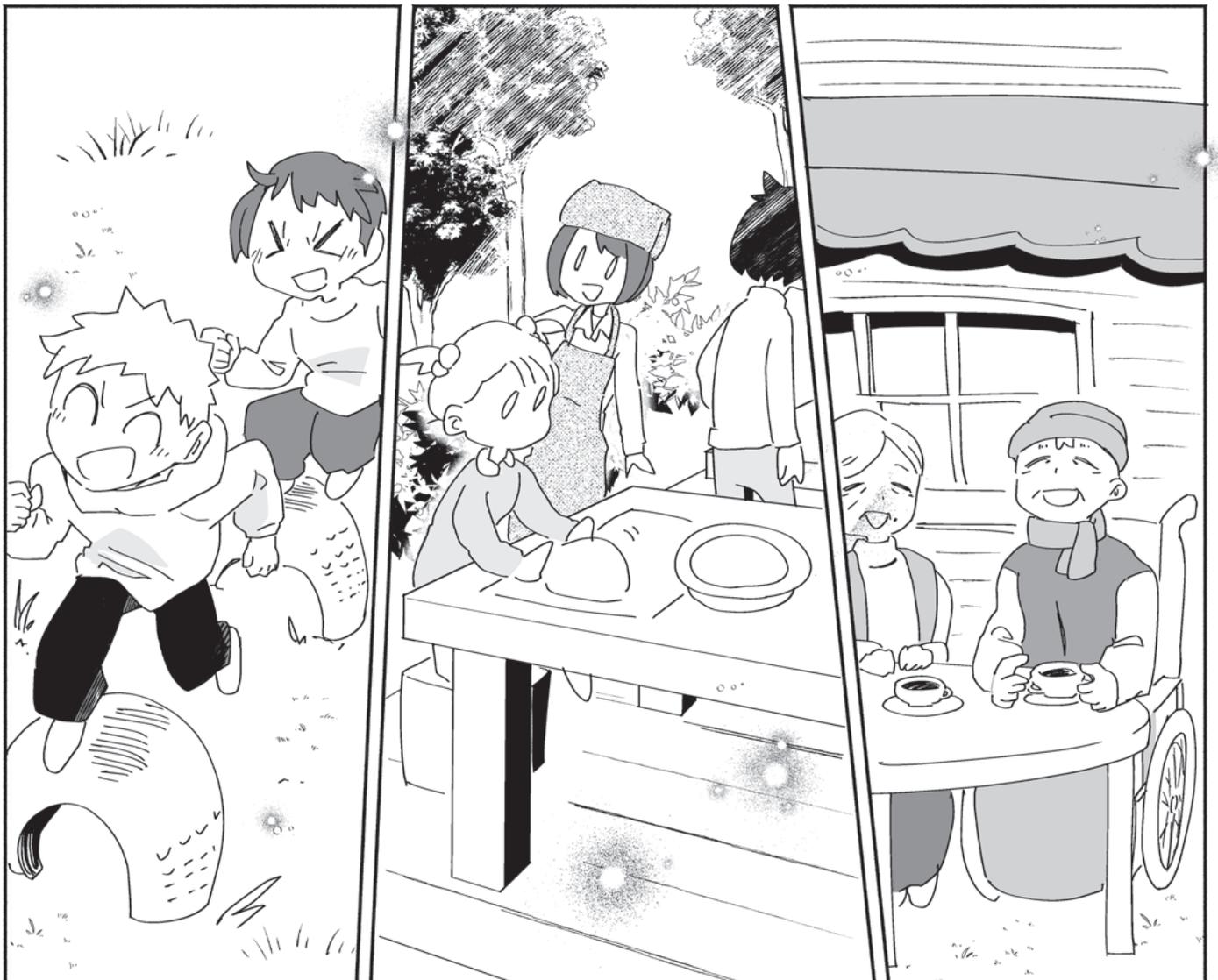






ほかん……







ちやんと
動き出すんだな

Cafe 万葉
Manyo 万葉



の帰
か
れ
る
？



痛
っ
？！



そういえば

どうやって
帰るんだ
俺？



ぱん



なんだ

栗
？

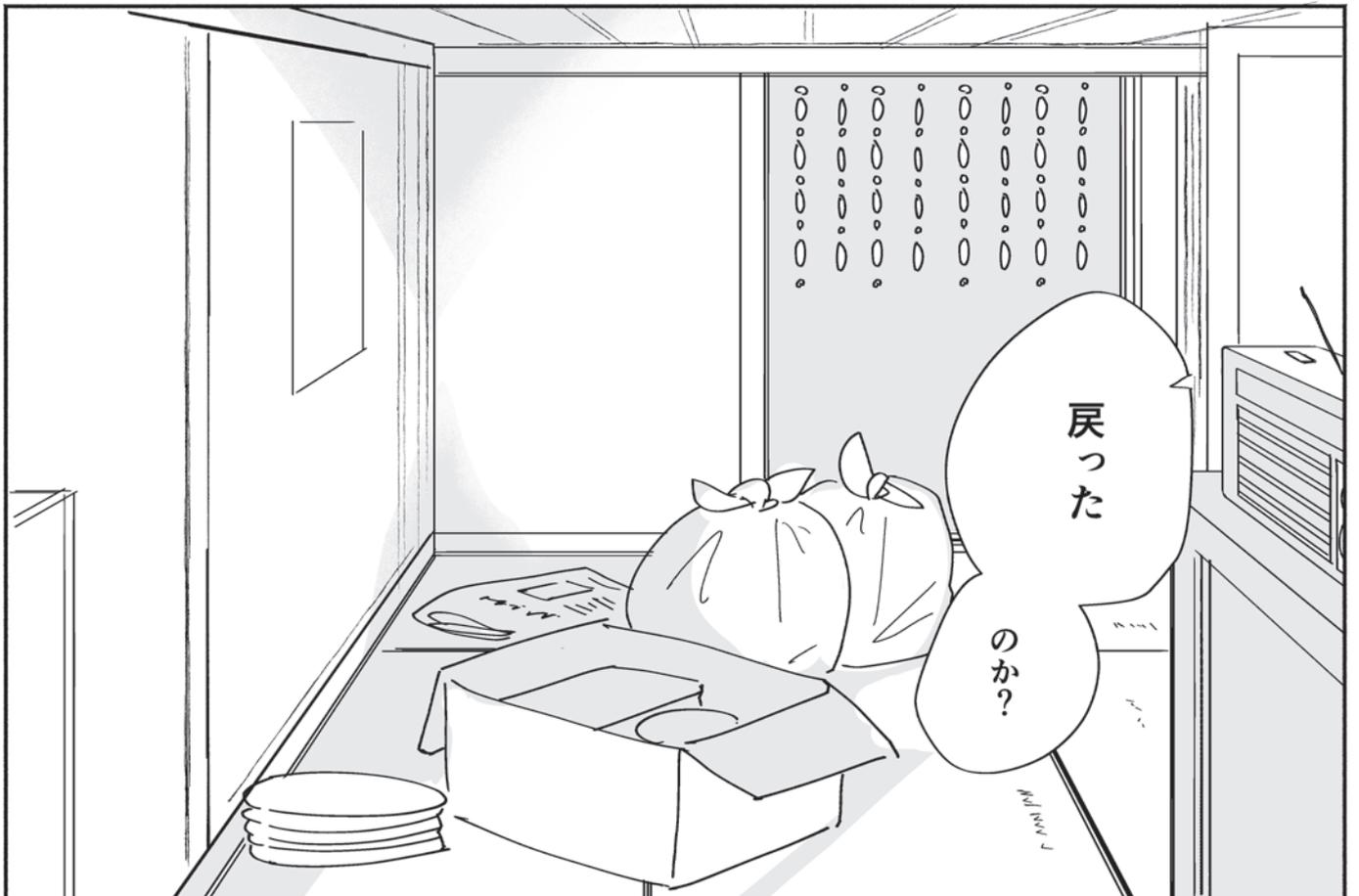
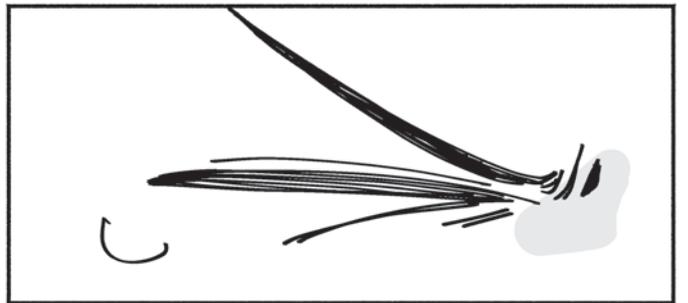
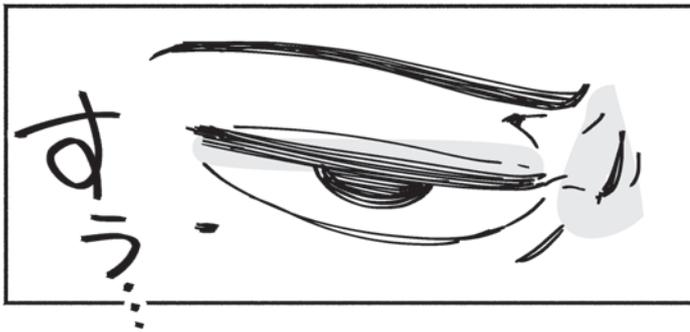


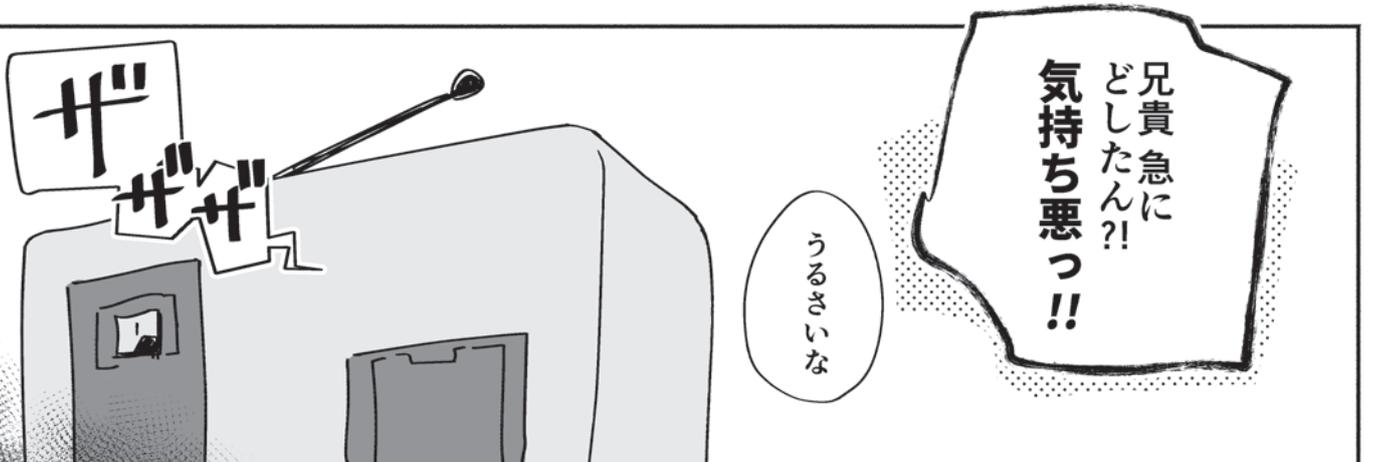
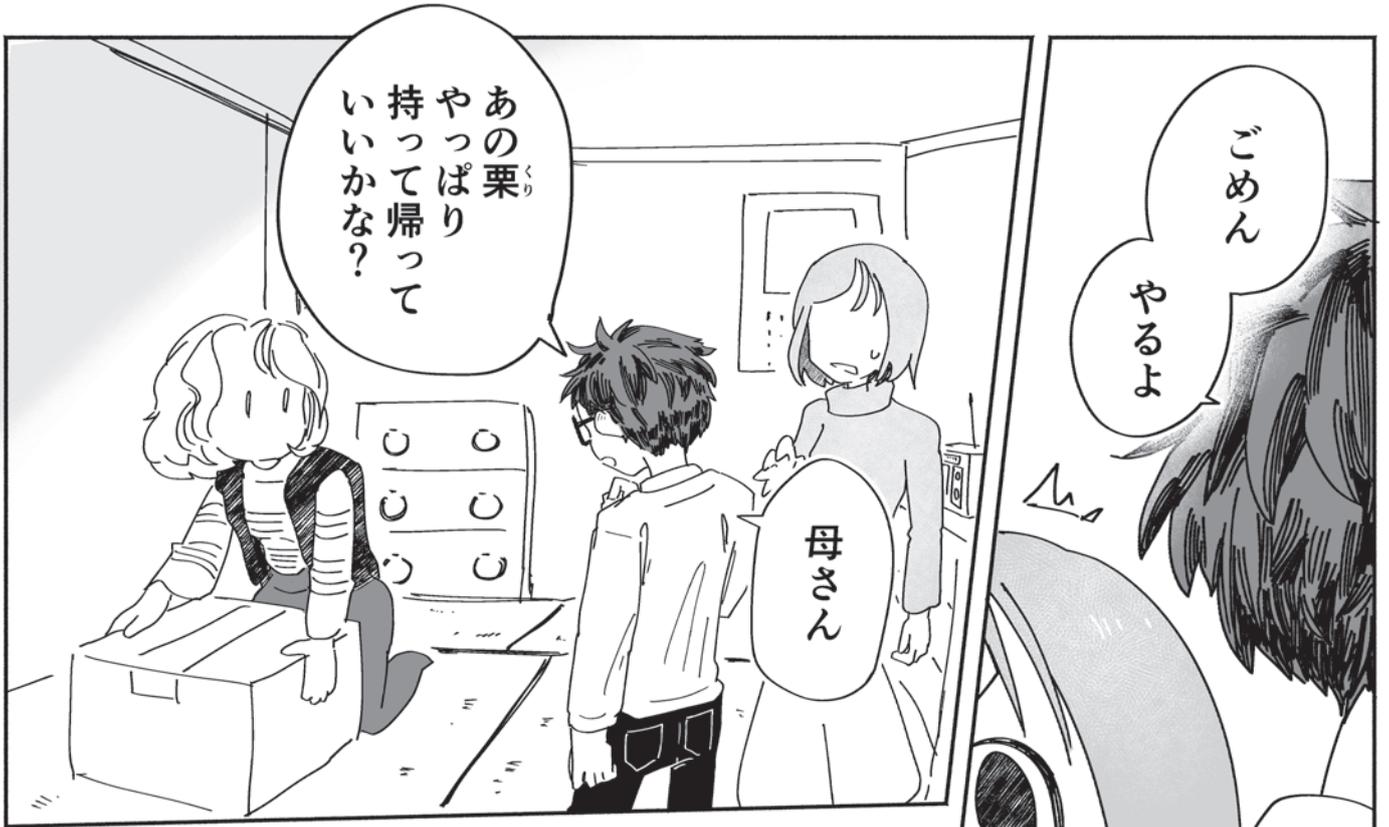
お前……ッ
ほんとに



どんだけ
元気なんだよ







一週間の
お天気を
お伝え
しました

それでは
皆さん、

よい
四半世紀を
お過ごしください。

おわり